

(仮称) 富士山 木のおもちゃ美術館について

(仮称) 富士山 木のおもちゃ美術館は、①地域の森林や里山を守り、御殿場の木材の積極的に活用する、②多世代に渡り「木育」を通じた豊かな暮らしを創造する、③市民活動の中核拠点として「木育のシンボル」となる施設を目指す、④御殿場の歴史や文化、ブランド木材の発信拠点として観光資源にすることを目的とし、樹空の森内に新たに整備を予定している施設です。

2026年の夏ごろの開館を目指し、現在、敷地の造成や内装・玩具の設計、建物の設計が進んでいます。

(仮称) 富士山 木のおもちゃ美術館整備基本構想



ワークショップのプログラム

- 13:30 開会・あいさつ
- 13:35 オリエンテーション
 - ①本日の目的と進め方、成果の活かし方
 - ②おもちゃ美術館とは？
 - ③(仮称) 富士山 木のおもちゃ美術館について
- 14:00 グループワーク
 - ①おもちゃ美術館に期待することを出し合おう
 - ②おもちゃ学芸員になったつもりで、どんな美術館にすべきかアイデアを深掘りしよう
- 15:30 発表・まとめ
- 15:55 今後の予定のご案内
- 16:00 閉会



富士山 木のおもちゃ美術館

検索

今後も、(仮称) 富士山 木のおもちゃ美術館の整備等に関する進捗状況を、市のホームページを中心に情報発信いたします。ご興味・ご関心をお持ちの方は、市のホームページの検索窓から「富士山 木のおもちゃ美術館」で検索いただき、最新情報をご覧いただければ幸いです。

vol.01

(仮称) 富士山 木のおもちゃ美術館の整備に向けた市民ワークショップ

開催のキロク

2024年1月発行

新たに御殿場にできるおもちゃ美術館に期待することを集めるワークショップを開催しました！



御殿場にできるおもちゃ美術館に期待することを出し合おう
第1回 2023.12.16 (土) 13:30-16:00

御殿場市では、地域の森林や里山を守るとともに、地域の木材の積極的な活用を図ることなどを目的に、木育の象徴となる「(仮称) 富士山 木のおもちゃ美術館」の整備を進めています。東京おもちゃ美術館とも連携して、御殿場らしい木のおもちゃ美術館をつくるため、市民の皆様と一緒に考える市民ワークショップを実施しています。2023年12月16日に実施した第1回のワークショップでは、4つのグループに分かれておもちゃ美術館に期待することやアイデアなどを出し合うグループワークを行いました。

グループワークのまとめ

御殿場にできるおもちゃ美術館に期待することを出し合おう

参加者から出された期待することやそれぞれの想いなどをグループで共有し、テーマごとに分類して整理しました。多くのご意見をいただいたなかで、主要なものを掲載しています。（太字は重要度の高いもの）

期待すること

- ・木や木材と森のつながり、森林保護の大切さを知って学べることが重要
- ・富士山だけではなく、豊かな自然や木の魅力を感じられる場所になって欲しい
- ・富士山の高さ 3776 にこだわった施設にしたい
- ・木のおもちゃ美術館を通して、市民も地元の魅力を再発見するきっかけにしたい
- ・地元の工芸品の洗い出しや、技術を持った大工さんとのコミュニケーションをとる
- ・市民にオープンなプロセスデザインによって市民との関係性をつくる
- ・多世代交流ができ、多様な世代の居場所と生きがい創出の場になると良い
- ・健康寿命が延びるような施設にしたい
- ・小さいことからコツコツと、楽しく御殿場の「報徳思想」を伝承できると良い
- ・何度も行きたくなる場所になってほしい
- ・上京した人の居場所になるきっかけがほしい
- ・どんな子も自分らしく遊べる場所になってほしい
- ・真面目に考えすぎず「くだらない、バカバカしいおもしろい要素」があると良い

アイデア

- ・「宝永山も連なる富士山」をシンボルにする
- ・寄付パネルは富士山の形で 3776 個のモザイクアート
- ・木作品を出展してもらい表彰する
- ・富士山太鼓まつり、ACO CHILL CAMP など、樹空の森のイベントと一緒に樹木の伐採をイベント化
- ・地元の人が御殿場の魅力を再発見する勉強会
- ・ハムなどの加工品やお茶、お米、お酒などとの連携

機能・コンテンツ

期待すること

- ・おもちゃ学芸員の制度を活用し、職人や匠の技術を体験したり、専門家から木のことを学べるコンテンツづくり
- ・郷土のことが知れる教育の場になってほしい
- ・木のおもちゃづくりなど、何度も来たくなる体験型のしかけ
- ・昭和レトロのおもちゃで世代間交流
- ・小学校の遠足の目的地になる施設にしたい
- ・建設のために切った現地の木を使う
- ・ショップはぜひ併設してほしい

アイデア

- ・富士山が複数の噴火でできたという過程を知ることができるつみ木
- ・木工職人と連携した企画（かなな体験、かななくすのフラワーアート、丸太切り、のこぎりチャレンジ、職人さん検定、木のスプーン）
- ・つくる楽しさを感じられるイベント教室
- ・御殿場には野鳥が多いため、木でできた野鳥を館内に配置
- ・富士山の絵本が読める場所
- ・ストーンが 3776 個のボルダリングウォール
- ・お米やお茶の収穫体験ができるおもちゃ
- ・馬術に使う実物の道具で、大きさや雰囲気を感じられるしかけ
- ・木製のゴルフのおもちゃ
- ・茅、石などの地域特有の自然素材の利用
- ・御殿場のおいしい水が飲める、汲める場所

期待すること

- ・循環バスの運行や、近所の子どもが自転車でも気軽に行けるなど市民の足の確保が大切
- ・駅やアウトレットからのアクセス改善
- ・周辺施設との関係をつないで欲しい
- ・車椅子でも空間を楽しめる工夫をして欲しい

アイデア

- ・レンタサイクルを設置したり、駐輪場やサイクリングロードなどを整備する
- ・バス会社と連携し、駅やアウトレットからアクセスしやすいインフラを整備する
- ・駅からのシャトルバスや市内を循環するバスルートの変更を検討して欲しい
- ・吹き抜け部分に、車椅子で上れるスロープを設置して欲しい

期待すること

- ・近くにある御胎内清宏園の自然も合わせて体感できる場所になると良い
- ・安全性の確保が大切
- ・木のぬくもりを感じられる空間になってほしい
- ・木のイス・テーブルがある、ちょっと休めるカフェのようなスペースがあると良い
- ・溶岩を木で再現するなど、富士山の荒々しさも表現できると良い
- ・三世代が一緒に集える空間があり会話が生まれるようになると良い
- ・遊び場の面積が少ないと感じるためもっと遊び場のスペースが増えると良い

アイデア

- ・ハンモックを活用した遊び・休憩スペース
- ・施設内に複数の富士山のビューポイント
- ・体を動かせるスペース
- ・地元の木材を建具や家具などで利用
- ・富士山の斜面をすべる滑り台と溶岩洞窟のトンネルを組み合わせたような遊具や空間

期待すること

- ・御殿場や木育を広めるため、まずは集客をしっかりして欲しい（特に平日の集客がカギ）
- ・中学生以上子育て世代未満の来場者をどう増やすかがポイント
- ・アウトレットからおもちゃ美術館への流れをつくり、樹空の森と連携して、滞在・宿泊しながら 1 日ゆっくり過ごせるようにしたい
- ・広域の自治体も巻き込んでいく
- ・おもちゃ=子どもではないと伝えることや、美術館という敷居の高さを感じさせない工夫が必要
- ・学校や高齢者施設にコンセプトごと出張する

アイデア

- ・大人への訴求力として、木育や施設に対する専門家の見解を市の広報で PR
- ・「ボランティア学芸員」のような就活でも使えるような認定証の交付
- ・歴史が学べたり、ものづくりのショーなどでコアなファンになってもらう
- ・子どもにアイデアをもらう
- ・学校の授業や遠足で使ってもらう

空間・しつらえ・デザイン

情報・プロモーション

コンセプト・考え方

期待すること

- ・子どもが 1 人でも滞在しやすい仕組みにできると良い
- ・大人が子ども以上に楽しみたい
- ・木工体験ができる場
- ・富士登山のシミュレーションが気軽にできる
- ・障がいのある子や学校に行けない子たちのサードプレイスになると良い

アイデア

- ・富士登山を館内で体験し、最後にはすべり台で降りれると良い
- ・富士山の荒々しさを学び、防災の意識が向上できるようなワークショップ等の取組
- ・ミニ学芸員としてのキッズニアのようなアクティビティ
- ・温泉を生かして、富士山を見ながら 2 階のテラスで足湯
- ・わらじづくりが体験できるワークショップ
- ・神社に関連した、しおりづくりや御朱印帳づくり
- ・木や地元の素材を使った木育につながる体験

期待すること

- ・市民が利用しやすい料金設定にしたい
- ・入場料を抑えるためにコストを抑える工夫が欲しい
- ・雨だからとふらっと行けるような安めの価格設定にしてほしい
- ・学校や教育施設との連携を強めたい
- ・学校単位で行くときは貸し切り可能にするなどの柔軟な運営をしてほしい
- ・子どもたちの職業体験ができる場所にしたい
- ・御殿場高校デザイン科とのコラボしたい
- ・異業種が連携することで組織の持続性を高められると良い
- ・衛生的な館内

アイデア

- ・市内の子育て支援団体におもちゃの貸し出し
- ・法人化をして地域のコミュニティが運営
- ・入館料は、地元の子どもは 1000 円くらいで安く利用できると良い
- ・市民や困窮家庭を優遇し、入場料を低くするなどの対応をして欲しい

アクティビティ・過ごし方

運営・ルール